

優秀賞

【工法の種類】上層階撤去による減築

【応募者名】耐震化推進グループ

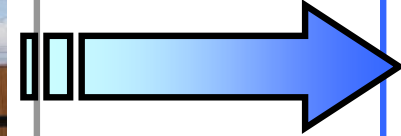
株式会社 円建築設計事務所

昭和2年建築の古い建物で、現在は高齢の夫婦で居住しています。奥様は足が悪く、地震災害のことを考えると非常に不安を感じていました。しかし、基礎も古く基礎を補強しての耐震改修を考えると高額となります。そこで、子どもが出ていき、使わなくなった二階をなくし、かつ屋根を軽量化して水平力を軽減して補強しました。屋根の葺き替えと併せて、既設垂木の補修もおこない構造用合板を貼ったので、屋根面も補強されました。

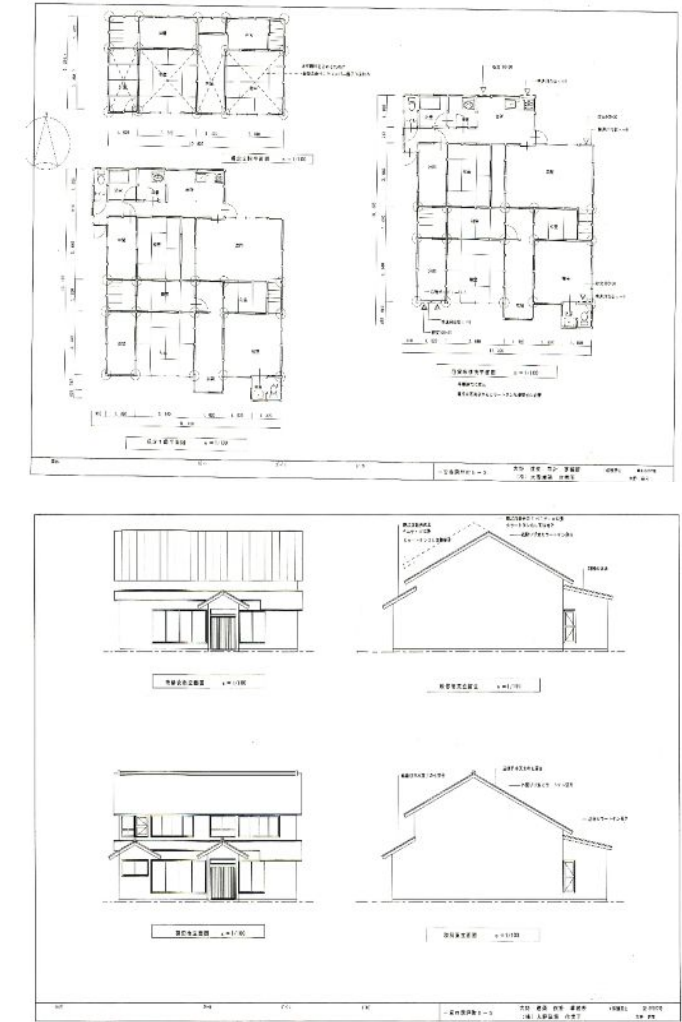
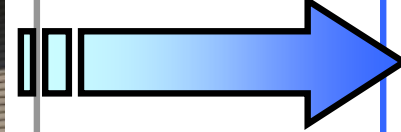
- ・ 耐震診断値 【改修前0.07、改修後1.24】
- ・ 工事費 ￥3,129,000.-
- ・ 工事期間 【2ヶ月】



屋根を軽量化



上層階一部撤去



【講評】 築80年を超えしかも、耐震判定値が 0.07（東西方向）、0.35（南北方向）非常に低く、倒壊の恐れが大変高いと判断される建物であった。それを合板、筋交いという確実な方法による補強と、2階を減築、屋根の重量を軽減することで、耐震判定値を 1.0 超としており素晴らしい耐震改修事例であり、優秀賞に適うものと評価した。今後、1世帯中に住まう人数が減少することが予想されることもあり、確実に有効な改修方法であろう。改修費が総額としては大きいですが、面積当たり、評点当たりでみると 20.2 千円/m²・点となり通常の半額程度である。